

平成 19 年 6 月 7 日

全員協議会

談合被疑にかかる経過報告について

改革市民会議の質問と答弁

質問者： 改革市民会議 伏見 隆

注意

注 1： 市長は答弁の冒頭で「調査の進行中で、書類等もなく、記憶もあいまいなところもあるので、現在、私の答えられる範囲で答えさせて頂く」と述べられています。したがって、答弁が得られなかった質問もあります。

注 2： 私の 1 回目の発言は原稿がありますので、ほぼ全文を掲載していますが、行政の答弁、及び 2 回目以降の私の質問については手持ちのメモに基づいており、全文を掲載していません。全文は議事録を入手後、「議会での発言」コーナーに掲載したいと考えています。

注 3： 市長及び担当部長は、実際は丁寧な表現で答弁されていますが、簡略化して掲載しています。

注 4： 質問方式は一括質問一括答弁方式、持ち時間は答弁を含め 30 分間、質問回数は 3 回まで。

1 回目

〔はじめに〕

この度の本市の第 2 清掃工場建設にかかわる談合事件では、枚方市は率先して談合防止に努め入札改革を進めていたとの認識を持っており、さらに、小堀副市長をつい先日の 5 月 21 日に議会全会一致で再任を承認したところであっただけに、大変驚いております。しかしながら、実際に談合が行われていたことを否定することはできず、すべての膿を出し切り 2 度とこのようなことが起こらないようにしなければなりません。その趣旨で質問致しますのでその点をご理解頂き、誠実で明快なご答弁をお願い致します。

〔質問〕

- 1 . 市長ご自身が談合に関与したという認識はありますか。また、枚方市の職員が談合に関与することを了承または黙認したという認識はありますか。

中司市長：私が談合に関与したことはない。了承、黙認したこともない。

〔質問〕

- 2 . 大林組、浅沼組、国土建設、羽衣組、平原警部補、初田府議会議員、及び当該事件に関係すると思われる業者または個人から市長または市長の後援団体が献金あるいは金品を受けたことがありますか。

中司市長：企業などからの献金、私に対する献金あるいは金品の提供は一切受けていない。政治団体への個人からの献金については、政治管理団体に任せているので、把握していない。(下線部については 6 月 21 日の一般質問で再質問しました。)

〔質問〕

- 3 . 大阪地検特捜部から捜索を受けた日付とそれぞれの部署名、押収された文書の詳細をお尋ねします。

奥野理事兼総務部長： 5 月 29 日午後 2 時 30 分ごろ捜査が入り、総合契約室、秘書室、重点プロジェクト推進部、議会事務局において関係書類の押収が行われた。

捜査に全面的に協力するという立場から押収文書の詳細についてのコメントは差し控えたい。

〔質問〕

4．市長は先程の答弁で「平原氏から談合情報がもたらされた」と述べられました。結果、大林組が落札したわけですが、疑問はなかったのでしょうか。

中司市長：平原警部補からの清掃工場に関する談合情報についてはプラントの工事発注前であったと記憶している。

〔質問〕

5．発注方法をプラント設備工事と建屋の建設工事を分離発注とすることで決定された経緯については先ほど担当部長から説明がありました。この決定に平原警部補または、初田議員の意向が盛り込まれたという認識はあるかお尋ねします。

〔質問〕

6．第1回目の入札即ち H17/8/10 に予定されていた工場棟・煙突・その他付属工事の入札が応札者なしであった後、予定価格に 17 億円を追加して行われた 2 回目の入札方法を決定した経緯についても、先ほどご説明を頂いたところでありますが、この決定についても平原警部補または、初田議員の意向が盛り込まれたという認識はあるのかについてもお答え下さい。

寺農重点プロジェクト推進部長：建屋の入札方式は、H15/9 の第2清掃工場建設検討委員会において、(第2清掃工場建設)検討会議の結果を受けて決定した。H17/8/24 開催の建設検討委員会において一括発注の方針を定め、庁内関係部署間で調整を行った上、最終的に決定した。その過程の中で(質問 5,6 いずれも)誰からの関与もなかった。

〔質問〕

7. 平原警部補についてお尋ねします。

- (1) 市役所関係者で平原氏と面識があった方のお名前を全員あげて下さい。また、それぞれ最初にあった日はいつか、会った回数はそれぞれ何回か、頻度はどれくらいかお尋ねします。
- (2) 市長と平原氏は20年来のお付き合いということですが、20年間ずっと定期的に会われていたのでしょうか。しばらく会わない期間があって、当該入札の前に頻繁に会うようになったなど、おつきあいの内容を時系列でお答え下さい。また、その間、警察官から犯罪者への変化に気づくことはなかったのでしょうか。
- (3) 平原氏と勉強会が行われたと報道されておりますが、第1回目はいつで合計何回行われ、最後の勉強会はいつ行われたのでしょうか。勉強会最終日から H17/8/24、不応札を受けて、工場棟・煙突・管理棟・洗車棟などの建設工事を一括発注することを決定した日ですが、この日までに平原氏は行政に何度面会したのか、お尋ねします。
- (4) ゼネコン顧問を食事の席に同席させるなど不審な行動に対して警戒心を強めることはなかったのでしょうか。

中司市長：平原容疑者とは17,8年前から面識があるが、定期的に会合していたということではない。記憶の範囲では、6,7年前から年1,2回程度会っていたかなという程度。そうした関係の中で、特に不信感を抱いたということはない。ただ、森井容疑者が同席していた際には、刑事としての情報収集活動の一環であると理解したが、今となっては、それを機会に警戒心をさらに強めるべきだったと反省している。

〔質問〕

8. 小堀副市長についてお尋ねします。

- (1) 副市長の逮捕についてどのように思われますか。また、副市長が逮捕されたことを受けて、市長ご自身も逮捕されることはあり得るとお考えでしょうか。
- (2) 副市長は金品の授受があったと思われますか。
- (3) 当該工事について市長は副市長からどのような内容の報告を受けていましたか。また、どれくらいの頻度で報告を受けていましたか。金額、大林が落とすという情報などもその報告の中に含まれていたのでしょうか。

中司市長：今も全幅の信頼をしている。副市長が談合にかかわったことはもちろん、金品の授受は絶対ないと確信している。また、事業の進捗状況については、大きな節目で副市長から報告を受けてきたが、入札前に予定価格や入札の状況を聞いたことは一切ない。本市の契約システムはそうしたことに市長が一切関与できないシステムになっているし、私自身もそうしたことに関与しない姿勢を守ってきた。

〔質問〕

9. 初田府議会議員について

- (1) 初田議員の逮捕についてどのように思いますか。談合に加担するような人物であるという認識はありましたか。
- (2) 市長、副市長、またはその他の担当職員に対し、初田議員から大林組が有利になるよう働きかけを受けたことはありますか。
- (3) 初田議員が談合の成功報酬を受け取ったことが新聞で報道されていますが、事実であるならば、当該入札が初田議員の思い通りになったと考えられます。初田議員の意図を市長、副市長、その他の職員は認識していたのでしょうか。

中司市長：初田議員の逮捕については、副市長逮捕と同様に大きなショックを受けている。今回の事件について、初田議員から働きかけを受けたことは一切ないし、そうした意図は認識していない。

〔質問〕

- 10. 平原警部補が談合にかかわっている可能性があると考えられる契約案件は他にありますか。また、平原警部補から談合情報をもたらされた契約案件は他にありますか。

横田財務部長：事実確認できない。

2 回目

〔質問〕

答弁では、談合に関与していないし、お金も受け取っていない。ということでした。報道では大林組や初田議員は入札を妨害したとされているが、一方、枚方市は「談合に一切関与していない。副市長は逮捕されたが、誤認逮捕である」と受け取れます。

それでは、なぜこんな問題が起こったのか。なぜ、今、全員協議会が開かれているのか。いったいどこに問題があったのか。全く理解できません。市長はどのように認識されているのか、再度お尋ねします。

中司市長： 現段階では、捜査の状況が進んでいるところなので、私としてはどういう形でこういうことが起こってきたのかということは理解できない状態が続いている。しかし、事態の重さを十分に受け止めて、そして私自身もこうしたことに対して大きな責任を負っているという立場から、事態の収拾に努めたいと思っている。

3 回目

〔要望〕

副市長が逮捕されましたが、どういう形で関与したかも全くわかりません。市は関与していないという答弁でしたが、疑問が晴れることはありませんでした。枚方市民の多くは新聞報道を見て、「市長も逮捕されるのではないか」、「市長もやっているのではないか」と感じていると私は認識しています。今後、捜査の行方を見る必要はあると思いますが、できるだけ市の方から情報発信をし、市民の信頼を裏切ることのないように、努めて頂くよう要望し、質問を終わります。